

平成29年度予算 政策的新規・充実事業一覧

(単位：千円)

環境政策局 予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
京都議定書採択20周年記念地球環境京都会議 (KYOTO+20) (仮称) の開催	平成9年12月、人類史上初の地球温暖化対策を取りまとめた「京都議定書」が採択された。 平成29年度は、京都議定書採択20周年を迎え、京都議定書が大きく飛躍した「パリ協定」の具体化が見込まれる中、京都議定書の意義と、これまで市民、事業者と連携して進めてきた地球温暖化対策の成果をもとに、パリ協定を踏まえた地球温暖化対策の推進に向けて議論する「地球環境京都会議」(KYOTO+20) (仮称) を開催する。	未定	地球温暖化対策室 222-4555
再生可能エネルギーの更なる拡大に向けた実践的な事業導入手法調査～熱・バイオマス・風力等の有効活用を目指して～	本市のエネルギー政策の基本方針である「京都市エネルギー政策推進のための戦略」に基づく再生可能エネルギーの導入量3倍以上という目標の実現に向け、これまで推進してきた太陽光等のほかに、地中熱、廃熱、下水熱などの都市部にも存在する熱や森林も含めた様々な原料から取り出すバイオマスなど、これまで低利用又は未利用の多様な再生可能エネルギーについて、技術革新や京都の都市特性に応じた、今日時点での新たな導入手法について調査検討する。	20,000	地球温暖化対策室 222-4555
水素社会の実現に向けた水素エネルギー普及・推進事業～「知ろう 水素が開く未来」～	本市では、環境負荷低減、省エネルギー等の観点から国家戦略に位置付けられている水素社会の実現に向け、燃料電池自動車(FCEV)の活用など水素エネルギーの普及啓発に先駆的に取り組んでいるが、水素社会推進の鍵は、より幅広く市民の関心と理解を深めることであり、このために、これまでの取組を強化し、水素エネルギーに関するセミナーや体験教室の開催、啓発イベントを実施する。	1,800	地球温暖化対策室 222-4555
将来の魅力ある低炭素なまちづくりに向けた調査検討～改定地球温暖化対策計画の推進～	「環境先進都市・京都」として将来を見据え、いつまでも住み続けたい、魅力ある低炭素なまちへの転換が必要である。 そのために省エネ・創エネ性能に優れ、室内における急激な温度変化による人体への影響(ヒートショック)等の健康リスクが低減される、いわゆるスマートウェルネス住宅で構成され、また、安全・安心で、緑豊かであるなど、各地域の特性に合った住み場所として選びたい住宅街区(スマートコミュニティ)を創ることが重要である。 そこで、先進事例や関連技術等の調査等を行い、将来の魅力あるまちづくりに向けたモデル事業実施の可能性を探る。	8,000	地球温暖化対策室 222-4555

(単位：千円)

環境政策局予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
小型家電リサイクル資源の活用～みんなで集めよう！都市鉱山から金メダル～	<p>「新・京都市ごみ半減プラン」に掲げる平成32年度までに、ごみ量をピーク時の半分以下にし、持続可能な循環型社会を構築していくためには、更なるごみの減量と同時に、リサイクルを推進していく必要がある。</p> <p>本事業では、市民の皆様が排出された携帯電話などの小型家電、いわゆる都市鉱山から回収した金を100%使った京都マラソンの優勝メダルを作成する全国初の取組を、創設百周年を迎える京都市産業技術研究所の技術を活用し、2018年大会に向けて実現し、資源活用の見える化を図り、市民の皆様のより一層の分別・リサイクル意識の向上につなげていく。</p>	1,000	循環型社会 推進部 ごみ減量 推進課 213-4930
環境政策局 合計		30,800	5件